

ポーランド政治・経済・社会情勢

(2017年6月8日～2017年6月14日)

平成 29 年(2017 年)6 月 16 日

H	E	A	D	L	I	N	E	S
<p>政治</p> <p>大統領府長官の交代 ドゥダ大統領が上下両院議長と会談 国家警察, 違法カジノを摘発 ウクライナ国籍者に対する EU 諸国への入国査証, 一部免除 クヤフスコ・ポモルスキエ県の学校敷地内で不審物発見 政治家支持率に関する世論調査 内務・行政省, 警察官の制服更新を発表 統合全般司令部, ドラゴン17演習の準備会議を開催 スラブの兄弟演習, ベラルーシ西部で開催 国防大臣, ピットラドバル社を視察 国防大臣, 英国参謀総長と意見交換 国防大臣, ラスムセン前NATO事務総長と面談 トランプ米大統領のポーランド訪問予定 ポーランド・ハンガリー外相会談 難民再移転に関するポーランドへのEU法違反手続の開始 三海域協力首脳会合の開催地変更 北東多国籍軍団, 即応司令部として認証</p>								<p>【お願い】3か月以上滞在される場合、「在留届」を大使館に提出してください。大規模な事故・災害等が発生した場合、所在確認・救援の根拠となります！</p> <p>問合せ先大使館領事部 電話 22 696 5005 Fax 5006 各種証明書, 在外投票, 旅券, 戸籍・国籍関係の届出についてもどうぞ。</p>
<p>経済</p> <p>5月のインフレ率 集合住宅の建設増 ポーランド人の現金離れ 国有銀行での幹部交替人事相次ぐ バルト海パイプライン建設に合意 カタールからのLNG船は順調にポーランドへ 2050年に石炭依存度を50%にすることは可能ーエネルギー大臣</p>								
<p>大使館からのお知らせ</p> <p>長期滞在を目的にシェンゲン協定域内国に渡航する際の注意 欧州でのテロ等に対する注意喚起 「たびレジ」への登録のお願い パスポートダウンロード申請書の御案内 大使館広報文化センター開館時間 文化行事・大使館関連行事</p>								
<p>ポーランド日本国大使館 ul.Szwolczerow 8, 00-464 Warszawa Tel:+48 22 696 5000 http://www.pl.emb-japan.go.jp</p>								

政 治

内 政

大統領府長官の交代【8日、12日】

8日、サドウルスカ大統領府長官が辞任を発表し、12日、ハリナ・シマンスカ氏が新大統領府長官に就任した。シマンスカ新長官は、農業開発・近代化局副局長及び西ポモージェ県議会議員を務めた経歴を持つ。

ドゥダ大統領が上下両院議長と会談【9日】

9日、ドゥダ大統領は、クフチンスキ下院議長及びカルチェフスキ上院議長と会談し、同大統領の提案する憲法改正に関する国民投票につき議論した。三者は、現在の政治情勢についても意見交換を行い、ドゥダ大統領は、他の国民投票の設問は政治家及び国民との協議に基づき決定されるべきとの考えを示した。

国家警察、違法カジノを摘発【9日】

9日、国家警察本部は、違法カジノに対する摘発を実施した旨を発表した。今回摘発されたカジノは、ワルシャワ近郊のヴォルカ・コソプスカに所在するショッピングセンター内で違法に営業していたもので、利用者のほとんどはアジア系外国人とされる。ポーランドでは、本年4月1日にギャンブル関連の法改正が実施され、スロットマシンの保有は違法となった。スロットマシンの所有が発見された場合、違反者は3年間投獄される。

ウクライナ国籍者に対するEU諸国への入国査証、一部免除【11日】

11日からEU域内(英国、アイルランドを除く)に90日以内の滞在で商用・観光目的で入国するウクライナ国籍者に対する入国査証が一部免除となった。無査証でEU域内に入国できるのは、生体認証旅券を持つウクライナ国籍者に限られ、滞在目的及び条件

を明らかにした上で、300ズロチ以上の現金等を所持し、健康保険に加入していることが条件となる。ポーランド国境警備隊は、11日及び12日だけで23,056人のウクライナ人がポーランドに到着し、このうち2,817人が査証免除の対象となった旨発表している。

クヤフスコ・ポモルスキエ県の学校敷地内で不審物発見【12日】

12日、クヤフスコ・ポモルスキエ県バルルビエの学校敷地内に駐車された教師の車から爆弾のような不審物が発見された。同学校から通報を受けた警察当局は、学生ら約700人を避難させ、同不審物を爆破処理して無害化した。翌13日、警察当局は、不審物を設置した容疑で同教師の夫を逮捕した。

政治家支持率に関する世論調査【13日】

13日、世論調査機関 IBRiS は政治家支持率に関する最新の調査を発表し、「評価する大臣」の分野で、ラファルスカ家族・労働・社会政策大臣が第1位(42.8%)、モラヴィエツキ副首相兼開発相兼財相が第2位(39.6%)を獲得した。一方、「評価しない大臣」では、マチェレヴィチ国防相及びシシュコ環境相が59.4%で同率首位に選ばれた。

内務・行政省、警察官の制服更新を発表【13日】

13日、内務・行政省は、警察官の制服の更新を発表した。今回更新されるのは、外勤及び捜査活動に従事する警察官が着用する制服で、新しい制服は、濃紺色の略帽、立ち襟ジャケット、ズボンの組合せとなる。内務・行政省は、2021年までに制服の更新を完了させる計画を示しており、移行期間中は、現行の青色の制服の着用も認められる。

外交・安全保障

統合全般司令部、ドラゴン17演習の準備会議を開催【6～8日】

6～8日、統合全般司令部は、2年の1度開催されるドラゴン17演習の準備会議を開催したと発表した。同演習は、本年9月23日～29日、NATO加盟国、ウクライナ、ジョージア等から約1.2万名が参加し、ポーランド全域の演習場を使用して実施される予定である。

スラブの兄弟演習、ベラルーシ西部で開催【6～15日】

6～15日、ロシア、ベラルーシ及びセルビアの特殊部隊が参加する「スラブの兄弟演習17」は、合計800名が参加し、ベラルーシ西部のブレストで実施された。

国防大臣、ピットラドバル社を視察【8日】

8日、マチェレヴィチ国防大臣は、防衛関係の通信・レーダーを製造するピットラドバル社を訪問し、対砲レーダー、対空砲用の対空レーダー等の製造工場を視察した。同大臣は、二次大戦前、ポーランドは世界最高レベルの航空機を保有していたが、軍が駆

使できず、数量も少なく役に立たなかったが、軍に駆使される高品質の装備を数多く製造する旨述べ、激励した。

国防大臣、英国参謀総長と意見交換【8日】

8日、マチェレヴィチ国防大臣は、ポーランド訪問中のマーシャル英国参謀総長と面談し、二国間協力、情報共有、テロ、イラクでの活動、NATOの体制、戦略広報等について意見交換を行うとともに、英国軍による前方プレゼンス強化部隊としてのポーランド派遣に謝意を伝えた。

国防大臣、ラスムセン前NATO事務総長と面談【8日】

8日、マチェレヴィチ国防大臣は、ポーランド訪問中のラスムセン前NATO事務総長と会合を行い、ウクライナ情勢、ウクライナへの支援について意見交換を行った。

トランプ米大統領のポーランド訪問予定【10日】

10日、シュテルスキ大統領府国務次官は、7月6日に、トランプ米大統領がドゥダ大統領の招待を受けポーランドを訪問することが確認され、本訪問に合わせ、トランプ大統領が三海域協力首脳会合に参加すると発表した。外務省によると、米国は同訪問により、欧州での極めて緊密な同盟国の一つであるポーランドへのコミットメントを再確認し、NATOの共同防衛強化を強調するとしている。

ポーランド・ハンガリー外相会談【12日】

12日、ヴァシチコフスキ外相は、ワルシャワにおいて、シーヤールト・ハンガリー外相と会談し、ハンガリーの次期V4議長国就任、二国間関係、BREXIT、移民問題及びテロの脅威を含めた欧州の

課題、並びにウクライナ問題等について意見交換を行った。ヴァシチコフスキ外相は、二国間関係は緊密で多様性に富んでおり、貿易額が約80億ユーロに達する等、経済における協力関係の重要性を強調した。

難民再移転に関するポーランドへのEU法違反手続の開始【13日】

13日、欧州委員会は、2015年9月に決定されたギリシャ及びイタリアに滞在する16万人の難民の再移転に関し、割り当てられた難民を受け入れていないポーランド及びハンガリー、並びに受け入れ人数が12名にとどまっているチェコに対して、EU法違反手続を開始した。これに対し、シマンスキ欧州担当外務副大臣は、ポーランドはEU司法裁判所で自国の正当性を主張する用意がある旨述べた。

三海域協力首脳会合の開催地変更【13日】

13日、ドゥダ大統領は、(トランプ米大統領のポーランド訪問の可能性を含む)状況の変化、交通及びセキュリティ上の観点から、三海域協力首脳会合の開催地を、やむを得ずブロッツワフからワルシャワに変更する旨発表した。また、ドゥダ大統領は、トランプ大統領による本会合への出席の意向は、中東欧諸国の重要性を理解していることの証左である旨述べた。

北東多国籍軍団、即応司令部として認証【14日】

14日、ポーランド北西部シチェチンに駐屯するNATOの北東多国籍軍団司令部は、演習を経て、正式に即応司令部として認証された。同司令部は、常にバルト海を含む中東欧の軍事情報を収集・分析し、初動の対応を行う任務を保有し、400名の幕僚で構成されている。

経 済

マクロ経済動向・統計

5月のインフレ率【12日】

中央統計局(GUS)は、5月の物価上昇率について、速報値と同じ対前年同月比1.9%と発表した。

集合住宅の建設増【12日】

中央統計局(GUS)によれば、2017年第一四半期に建設された集合住宅家屋は対前年同期比8.8%増の40,587軒で、多くが投資目的とされる。平均床面積は97.2平方メートルで、対前年同期比

で0.6%狭くなっている。

ポーランド人の現金離れ【15日】

ING銀行関連会社の報告によれば、33%のポーランド人はまとまった現金を持ち歩いていない。平均的な現金の持ち歩き額は110ズロチで、25%は42ズロチで、65%はキャッシュレス払いの方が安全と感じている。一方、ドイツでは90%が相当の現金を持ち歩いている。

ポーランド産業動向

国有銀行での幹部交替人事相次ぐ【14日】

Pekao銀行は、新たなCEOにミハウ・クルピン

スキ前PZU社長を指名した。また、Alior銀行でもCEOが交代し、これら人事は、金融監督庁(KNF)

の了承を経て、正式に成立する。

エネルギー・環境

バルト海パイプライン建設に合意【9日】

シドゥウォ首相とラスムセン・デンマーク首相は、ノルウェーのガス井からポーランドに至るガスパイプライン設置に関する覚書に署名した。同覚書では、2022年の完成に向け両国政府が支援し、EUにおける未来志向の気候変動政策への意向等が盛り込まれている。

カタールからのLNG船は順調にポーランドへ【11日】

ナウムスキ戦略的エネルギーインフラ政府特命全権は、カタールからのLNG船はポーランドに向け順調に航行している、中東における状況については注意深く見守っていると述べた。また、カタールガス社は良いビジネスパートナーであり、長期L

NG供給契約が履行されるよう問題の解決を望んでいるとも述べた。

2050年に石炭依存度を50%にすることは可能—エネルギー大臣【12日】

トフジェフスキ・エネルギー大臣は、カトヴィツエで行った演説において、欧州委員会との直近の協議において、ポーランドの石炭利用への理解を得ていると述べるとともに、将来のエネルギー構成に関し、2050年までに石炭の依存度を現在の80%から50%に引き下げることが可能で、エネルギー効率の向上と先進的なエネルギー技術の導入を通じたCO2排出の大規模な削減をもたらすことになると述べた。

大使館からのお知らせ

長期滞在を目的にシェンゲン協定域内国に渡航する際の注意

最近、ドイツ以外のシェンゲン協定域内国に長期滞在を目的と申告した邦人が、経由地であるドイツでシェンゲン協定域内への入国審査を受ける際に入国管理当局から(1)最終滞在予定国の有効な滞在許可証、(2)ドイツ滞在法第4条のカテゴリーD査証(ナショナル・ビザ)、又は(3)同D査証に相当する滞在予定国の長期滞在査証の提示を求められ、これを所持していないために入国を拒否される事例が発生しております。

このため、現地に到着してからの滞在許可証取得を予定し、最初にドイツ入国を予定している場合には、注意が必要です。

ドイツ以外の国では同様の事例は発生しておりませんが、シェンゲン協定域内国での長期滞在を目的に渡航する場合には、滞在国及び経由国の入国審査、滞在許可制度の詳細につき、各国の政府観光局、我が国に存在する各国の大使館等に問い合わせるなどし、事前に確認するようにしてください。詳しくは下記リンク先を御覧ください。

<http://www2.anzen.mofa.go.jp/info/pcsafetymeasure.asp?id=173>

欧州でのテロ等に対する注意喚起

5月27日(土)から6月24日(土)頃は、イスラム教徒が日の出から日没まで断食を行うラマダン月に当たります。ラマダン終了後には約3日間(6月25日(日)頃から6月27日(火)頃)、イードと呼ばれるラマダン明けの祭りが行われます。

6月12日、イスラム過激派組織ISIL(イラク・レバントのイスラム国)は、ラマダン期間中のテロを呼びかける声明を発出しました。ISILは、2015年及び2016年にも同様の声明を発出しています。同声明との関係は明らかではありませんが、過去2年、ラマダン月に多数のテロ事件が発生しています。今年についてもラマダン開始後、多数のテロが発生しており、そのうちイラン、仏、オーストラリア、英国、フィリピン等での事件については、必ずしも関与は明確ではないものの、ISILが犯行を主張しています。

昨今、ISILは、銃器や爆弾の使用に加え、車両の突入やナイフによる殺傷といった実行が比較的容易な方法により、混雑した閉鎖空間を狙ってテロを実行するよう呼びかけており、これに応じテロを実行したとも見られるケースが続いています。

夏にかけて、欧州ではスポーツ大会、音楽フェスティバル、独立記念日を祝う行事などのイベントが各地で予定され、フランス(6/11, 18)での選挙やドイツでのG20首脳会合(7/7, 8)といった国際会議も予定されています。これらを標的とするテロに警戒する必要があることに加え、国際会議等の警備のため手薄となった他

の都市でのテロの実行も同じく懸念されます。以上を踏まえ、以下のテロ対策をお願いします。

(1) 最新の関連情報の入手に努める。

(2) 金曜日に注意する。金曜日はイスラム教徒が集団礼拝を行う日であり、その際、モスク等宗教施設や群衆を狙ったテロや襲撃が行われることがある。本年のラマダン月については、6月2日、9日、16日及び23日が金曜日に当たる。

(3) 以下の場所がテロの標的となりやすいことを十分認識する。

観光施設、観光地周辺の道路、記念日・祝祭日等のイベント会場、レストラン、ホテル、ショッピングモール、スーパーマーケット、ナイトクラブ、映画館等人が多く集まる施設、教会・モスク等宗教関係施設、公共交通機関、政府関連施設(特に軍、警察、治安関係施設)等。

(4) 上記(3)の場所を訪れる際には、周囲の状況に注意を払い、不審な人物や状況を察知したら速やかにその場を離れる、できるだけ滞在時間を短くする等の注意に加え、その場の状況に応じた安全確保に十分注意を払う。

(5) 現地当局の指示があればそれに従う。特にテロに遭遇してしまった場合には、警察官等の指示をよく聞き冷静に行動するように努める。

詳しくは下記リンク先を御覧ください。

<http://www.anzen.mofa.go.jp/>

「たびレジ」への登録のお願い

3か月以上海外に滞在する方は在留届の提出を、3か月未満の場合は「たびレジ」への登録を必ず実施してください。渡航先の最新安全情報や、緊急時の大使館又は総領事館からの連絡を受け取ることができます。また、家族や友人、職場等に日程や渡航先での連絡先を伝えておくようにしてください。

下記リンク先から「たびレジ」に登録することができます。

<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/>

パスポートダウンロード申請書の御案内

本年1月4日から、パスポートダウンロード申請が開始されています。日本国外でパスポート申請を行う方は、御自宅などでこれらの申請書をダウンロードし、必要事項を入力・印刷することで、パスポートの申請書が作成できるようになります。詳しくは、下記リンク先を御覧ください。

http://www.mofa.go.jp/mofaj/ca/pss/page3_001509.html

【お知らせ】大使館広報文化センター開館時間

月曜日 9:00 - 19:00 火曜～金曜日 9:00 - 17:00

当センターでは、日本関連行事や各種展示のほか、マンガコーナーを含む書籍の閲覧、本・CD・DVD等の貸出しを行っています。

イベント情報: <https://www.facebook.com/JapanEmb.Poland>

問合せ先: 在ポーランド日本大使館広報文化センター(電話: 22-584- 73 00, E メール: info-cul@wr.mofa.go.jp, 住所: Al. Ujazdowskie 51, Warszawa)

文化行事・大使館関連行事

【開催中】中東欧書道展2017【6月13日(火)～6月30日(金)】

在ポーランド日本大使館広報文化センターにて、ワルシャワ日本語学校に主催された中東欧書道コンクールの書道作品の展示が開催中です。入場無料。

開催場所: 在ポーランド日本大使館広報文化センター(電話: 22 -584 -73 00, E メール: info-cul@wr.mofa.go.jp, 住所: Al. Ujazdowskie 51, Warszawa)

【予定】日本人ピアニストによるコンサート【6月16日(金)18時～】

ワルシャワ市にて、日本人ピアニストによるショパンコンサートが開催されます。入場無料。

開催場所: マゾフシェ県, ワルシャワ市, PIANOSALON, ul. Ordynacka 10/12

詳細: <https://www.facebook.com/events/1348025565263383/>

【予定】国際ポーランド相撲選手権 POLAND OPEN 2017 【6月23日(金)～24日(土)】

クロトシン市にて、ポーランド相撲連盟主催による『国際ポーランド相撲選手権 POLAND OPEN 2017』が開催されます。

開催場所: ヴィエルコポルスカ県, クロトシン市

詳細: <http://www.sumo.org.pl>

【予定】プラガ区クパワの夜の七夕【6月24日(土)12時～19時】

ワルシャワ市にて、喜びの公園主催による『プラガ区クパワの夜の七夕』が開催されます。日本とポーランドの手作り品の販売ブース, 様々なワークショップ(折り紙, 書道, 紙芝居, 着付け), 日本とポーランドのダンスパフォーマンスなどが予定されています。

開催場所: マゾフシェ県, ワルシャワ市, Centrum Kreatywności, ul. Targowa 56

詳細: <https://www.facebook.com/events/208805306301711/>

【予定】詩とピアノの夜【6月26日(月)17時30分～18時30分】

日本語での詩の朗読とピアノ演奏。入場無料。

開催場所: 在ポーランド日本大使館広報文化センター(住所: Al. Ujazdowskie 51, Warszawa)

この資料は、ポーランドの政治・社会情勢を中心に、各種報道をとりまとめたものです。

報道をベースにしておりますので、記載事項の信頼性については責任を負いかねます。

記載事項は在ポーランド日本国大使館の見解を示すものではなく、特定の団体・個人の利益を代表するものではありません。

皆様からの情報提供をお待ちしています

大使館では、読者の皆様に幅広くポーランドの情報をお伝えするため、皆様からの情報をお待ちしています。社会・生活情報やおすすめのイベント、困ったことなど、皆様に伝えたいと思われる情報があれば、下記のアドレスまで御連絡ください。(営利目的など、内容によっては対応できかねる場合もありますので御了承ください。)

【お問い合わせ・配信登録】

本資料は、ポーランドに関心のある方であれば誰でも受け取ることができます。「新たに配信を受けたい」、「送付先メールアドレスを変更したい」、「配信を停止したい」等の依頼につきましては、下記のアドレスまで御連絡ください。

大使館ウェブサイト(http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm)も併せて御覧ください。

在ポーランド日本国大使館 newsmail@wr.mofa.go.jp (御連絡は電子メールでお願いします。)